

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年1月26日

上場会社名 養命酒製造株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 2540 URL <http://www.yomeishu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩澤 太郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 田中 英雄

TEL 03-3462-8138

四半期報告書提出予定日 平成24年1月31日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の業績（平成23年4月1日～平成23年12月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	9,284	△2.5	1,415	124.1	1,620	93.4	823	54.5
23年3月期第3四半期	9,526	△4.3	631	△65.8	837	△59.3	532	△56.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	27.39	—
23年3月期第3四半期	17.73	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	33,537	30,217	90.1
23年3月期	32,445	29,976	92.4

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 30,217百万円 23年3月期 29,976百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	18.00	18.00
24年3月期	—	—	—		
24年3月期(予想)				18.00	18.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,440	△1.7	1,080	31.5	1,300	23.9	630	△10.8	20.97

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年3月期3Q	33,000,000株	23年3月期	33,000,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	2,954,823株	23年3月期	2,953,252株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期3Q	30,045,822株	23年3月期3Q	30,048,303株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
【第3四半期累計期間】	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
4. 補足情報	7
(1) 生産、受注及び販売の状況	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間(平成23年4月1日から平成23年12月31日まで)におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による厳しい状況が続く中、一部に緩やかな持ち直しの動きが見られたものの、欧州債務問題や円高・株安の進行もあり、先行き不透明な状況が続いております。

当社の関連業界におきましても、業種・業態を越えた企業間競争の激化や流通における再編が継続し、先行きの不透明感から生活防衛意識の高まりによる生活者の節約志向が続く厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社は、「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」という経営理念の下、当期につきましては、「養命酒」をはじめ、前中期経営計画において基盤を構築した「ハーブの恵み」、「くらすわ」等の商品及び事業に経営資源を集中することとし、収益基盤の維持、確保に重点的に取り組みました。また、新規事業領域の拡大と成長性の確保や養命酒関連事業による安定的収益基盤の構築を主要戦略とする新たな中期経営計画につきましては、「持続的成長に向けた事業構造の変革」を基本方針とし、その諸施策の再検討と準備に取り組みました。

以上の結果、売上高は9,284百万円(前年同期比2.5%減)となりました。利益面では、ほぼ計画通りに推移し、営業利益は1,415百万円(前年同期比124.1%増)、経常利益は1,620百万円(前年同期比93.4%増)と新商品・新事業の基盤構築のために必要な費用を積極的に投入した前年同期と比較し増益となりました。また、四半期純利益は減損処理による投資有価証券評価損を計上し823百万円(前年同期比54.5%増)となりました。

セグメント別には、次のとおりであります。

①養命酒関連事業

養命酒関連事業につきましては、従来のチャネル別担当制からエリア別担当制へ変更し、営業活動の効率化に取り組むとともに、「養命酒」と他の商品との広告費バランスを意識した計画的な販売促進活動に努めました。

主力商品「養命酒」につきましては、テレビスポット広告や雑誌、新聞、ウェブ等の各種媒体の役割や訴求対象を明確にし、効率的な広告の実施や、広告と連動した店頭における販売促進活動を展開いたしました。また、東洋医学の考え方をもとに「7の倍数8の倍数」の節目となる年齢における養生をテーマとしたテレビスポット広告に加え、11月から12月にかけては「冷え」や「疲れ」をテーマとしたテレビ広告を実施し、主力購買層を対象とした雑誌、新聞をはじめとした印刷媒体やウェブ等により「養命酒」の商品理解の向上に努めました。

当社の生薬に関する知見と大正製薬株式会社のドリンク剤の開発力とを合わせ、平成21年9月より一部地域において先行販売をしておりましたミニドリンク剤「リオン」につきましては、パッケージをリニューアルし、商品名を「ハーブプラスHerb+」として昨年9月から発売し、「養命酒」と合わせた効果的な店頭販売促進活動に着手しました。

海外におきましては、原子力発電所の事故による風評被害の影響が懸念される中、既存の東南アジア諸国を中心として各国の市場環境に即したマーケティング活動の展開に取り組み、効率的な販売促進活動を実施するとともに、「養命酒」の理解と知名度の向上に努めました。また、春節に向けた商戦期において各種キャンペーンや店頭販売促進活動を強化いたしました。

「ハーブの恵み」につきましては、取扱店舗数の拡大に向けた店頭活動、味を知っていただくためのサンプルの配布や試飲会、棚割提案による配荷促進等に努めるとともに、各種イベントへの出展やキャンペー

ーンの実施、特定エリアに集中したテレビ、ラジオ、交通広告等によるプロモーションを実施いたしました。

以上の結果、「養命酒」の売上に「ハーブの恵み」、「家醸本みりん」、「ミネラルウォーター」、インターネット通信販売サイト「養命酒本舗」等の売上が合算いたしまして、養命酒関連事業の売上高は8,911百万円（前年同期比2.8%減）となりました。

②施設運営事業

「くらすわ」につきましては、生活者の皆様のニーズや季節に応じた商品・料理メニューの充実に努めるとともに、各種イベントを開催し、集客や地域への貢献に努めました。花火大会をはじめとして観光客の多い夏季におきましては、諏訪湖畔にある「くらすわ」のロケーションを活かした観光客の取込みに注力し、観光客の少ない冬季におきましては、地元地域のお客様の集客に注力いたしました。また、オリジナル商品の通信販売や小売店への卸売等、販売チャネルの拡充に努めました。

以上の結果、「くらすわ」の売上に駒ヶ根工場見学施設「養命酒健康の森」の売上が合算いたしまして、施設運営事業の売上高は282百万円（前年同期比10.9%増）となりました。

③その他

不動産賃貸事業の売上高は、本店ビルのテナント賃貸収入減などにより、90百万円（前年同期比13.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は、前期末に比べ1,091百万円増加し、33,537百万円となりました。これは主にたな卸資産が215百万円、減価償却により有形固定資産が357百万円、保有株式の時価評価が低下したこと等により投資有価証券が346百万円それぞれ減少した一方で、売掛金が1,628百万円、余剰資金の運用により有価証券が496百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は、前期末に比べ850百万円増加し、3,319百万円となりました。これは主に未払法人税等が317百万円、流動負債のその他に含まれる未払費用が614百万円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産は、前期末に比べ241百万円増加し、30,217百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が39百万円減少した一方で、利益剰余金が282百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期累計期間までの業績は概ね堅調に推移しておりますが、第4四半期におきましては当初計画通りの販売促進活動の実施に加え、当初第3四半期に計画していた販売促進活動の一部を実施する予定であることから平成23年10月26日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年 3 月 31 日)	当第 3 四半期会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,989,333	1,864,866
売掛金	2,046,741	3,674,860
有価証券	2,504,819	3,001,036
商品及び製品	360,990	250,865
仕掛品	204,874	155,449
原材料及び貯蔵品	403,565	347,927
その他	174,938	246,993
流動資産合計	7,685,263	9,541,998
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,935,104	3,757,064
その他（純額）	3,398,100	3,218,995
有形固定資産合計	7,333,204	6,976,059
無形固定資産	68,554	46,579
投資その他の資産		
投資有価証券	11,506,860	11,160,603
長期預金	3,900,000	3,900,000
その他	1,958,249	1,918,805
貸倒引当金	△6,299	△6,299
投資その他の資産合計	17,358,809	16,973,108
固定資産合計	24,760,569	23,995,747
資産合計	32,445,832	33,537,746
負債の部		
流動負債		
買掛金	290,922	275,093
未払法人税等	10,568	327,816
賞与引当金	212,325	106,260
その他	932,828	1,650,898
流動負債合計	1,446,643	2,360,069
固定負債		
退職給付引当金	5,734	15,943
役員退職慰労引当金	50,850	48,350
その他	966,219	895,510
固定負債合計	1,022,803	959,803
負債合計	2,469,447	3,319,872

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年 3 月31日)	当第 3 四半期会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,650,000	1,650,000
資本剰余金	676,680	676,680
利益剰余金	30,612,497	30,894,729
自己株式	△2,881,662	△2,882,815
株主資本合計	30,057,515	30,338,594
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△81,129	△120,720
評価・換算差額等合計	△81,129	△120,720
純資産合計	29,976,385	30,217,873
負債純資産合計	32,445,832	33,537,746

(2) 四半期損益計算書
【第 3 四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第 3 四半期累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年12月31日)	当第 3 四半期累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)
売上高	9,526,356	9,284,839
売上原価	3,202,141	3,068,118
売上総利益	6,324,214	6,216,720
販売費及び一般管理費	5,692,448	4,800,812
営業利益	631,766	1,415,908
営業外収益		
受取利息	39,530	38,525
受取配当金	157,864	160,402
その他	23,122	20,213
営業外収益合計	220,517	219,142
営業外費用		
支払利息	13,870	13,781
その他	421	564
営業外費用合計	14,292	14,345
経常利益	837,991	1,620,704
特別利益		
固定資産売却益	8,696	—
特別利益合計	8,696	—
特別損失		
固定資産除却損	1,591	852
投資有価証券評価損	25,064	303,549
特別損失合計	26,655	304,402
税引前四半期純利益	820,032	1,316,302
法人税、住民税及び事業税	275,000	512,000
法人税等調整額	12,153	△18,771
法人税等合計	287,153	493,228
四半期純利益	532,878	823,073

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

セグメント別売上高内訳表

(単位：千円)

	前第 3 四半期累計期間 自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年12月31日	当第 3 四半期累計期間 自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日	前事業年度 自 平成22年 4 月 1 日 至 平成23年 3 月31日
養命酒関連事業	9,166,509	8,911,564	11,193,329
養 命 酒	8,724,318	8,562,946	10,656,807
(うち輸出分)	(371,251)	(395,668)	(465,331)
そ の 他	442,191	348,617	536,521
施設運営事業	255,148	282,965	308,800
そ の 他	104,699	90,309	138,545
合 計	9,526,356	9,284,839	11,640,674

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。